

三重県企業国際展開推進協議会「第2回企画運営委員会」 会議概要

I 日 時：平成26年8月5日（火） 15：00～16：10

II 場 所：三重県勤労者福祉会館 5階 第2教室

III 出席者：佐久間委員長、新井委員、井野委員、後藤委員、藤本委員、森本委員、永田委員、
廣田委員 （計8名）

IV 会議概要：

1 「三重県企業国際展開推進協議会」の部会及び「みえ国際展開推進連合協議会（仮称）」の運営について

事務局から資料により提案説明し、事務局案が承認されました。

【委員意見】

- ・どの国、どの分野をターゲットとしていくのか、県の方針はあるか。
→「みえ国際展開に関する基本方針」に定めている。重点国にどうアプローチしていくか、この委員会で決めていきたい。
- ・部会の戦術としては、海外ミッション団の派遣だけでなく、海外展示会への出展支援など別の戦術についても検討してほしい。海外ミッションは企業にとっては負担が重い。
- ・海外ミッションは、参加企業に金銭的に負担があるという声を聞くが、現地を実際に見て、現地の人に会わないと分からないことがかなりあるので重要。参加企業の負担を軽くする方法を考えていくことが必要。
→海外ミッション参加の負担軽減として、国では企業がグループとなって海外展示会出展や海外企業との交流を行う際に補助があるので、そのような海外展開にかかる競争的資金の活用を支援していく。
- ・個別の企業のニーズをどのようにして吸い上げていくのか。ニーズに基づき絞り込んでいくことも大切。
→ニーズの収集は企業訪問やアンケート調査などで行いつつ、部会への参加を呼びかけ、部会でも聞き取っていく。
- ・農林水産物・食品輸出促進協議会では、分野ごとに部会を設置しているが、他の2つの協議会はどうなっているか。
→部会を設置しているのは、この協議会のみである。
- ・海外展開はまだ始めたところ。様々な国を文献などで調査しそのニーズなどを分析して絞り込んでいきたい。
- ・企業がグループとなって海外展開にかかる共同事業を行う際に国から支援が受けられることができた（地域力活用市場獲得等支援事業「共同海外現地進出支援事業」）。このような支援策に関する情報は早めに共有していただきたい。
- ・連携相手とはWin-Winの関係を築いていかないといけない。心が通ったコミュニケーションがないと、関係は長続きしない。

2 海外ミッション団（北米、アセアン・インド）の派遣について

事務局から資料により具体化されてきた北米とアセアン・インドの海外ミッションについて説明しました。

【委員意見】

- ・海外ミッションは現地を知るうえで非常に重要。県はこれまでミッションを行い、産業連携に関する覚書（MOU）を締結してきたが、どのような成果があったのか示してほしい。

→現在、成果をまとめているところであり、また、みえ国際展開に関する基本方針に見直しをかけるところ。次回情報提供したい。

3 台湾との産業連携推進プランについて

事務局から資料により台日産業連携推進オフィス（T J P O）との間で合意に至った産業連携推進プラン（案）について説明しました。

【委員意見】

- ・台湾との連携・交流は進んでいると感じた。相当数の企業が台湾を訪れており、太いパイプができて企業間の連携が進むことを期待している。
- ・台湾では、観光客誘致も盛ん。観光部門とも連携し一体となって進めてはどうか。

4 その他

- 1) 第1回企画運営委員会における委員からのご意見に対する対応について [配付のみ]
- 2) 「三重県企業国際展開推進協議会」会員名簿（平成26年8月4日現在） [配付のみ]

○特記

企業訪問について、海外展開に関心がある企業を漏れなく回ってもらいたい。訪問した企業にはフォローアップが大切。